

1. プロトコル

RS - 232C 準拠 / RS - 485 (HALF DUPLEX) 準拠
START Bit 1
STOP Bit 1
DATA Bit 8
PARITY EVEN
DATA RATE 1200 ~ 9600 bps 可変
CODE ASCII
ターミネート CR,LF (0x0d,0x0a)

2. WRITE コマンド

マトリックススイッチャ (MSW-2808) が MENU を表示している状態ではコマンドを受け付けません。「MENU+CR,LF」を返します。

2-1. ANSWER

「GO+CR,LF」	正常受信、正常実行
「GN+CR,LF」	正常受信であるが MODE が違うため実行しない
「E0+CR,LF」	フレーミングエラー
「E1+CR,LF」	パリティエラー
「E2+CR,LF」	オーバーランエラー
「E3+CR,LF」	コマンドエラー
「MENU+CR,LF」	MENU 表示中

2-2. COMMAND

2-2-1. 「ACC+CR,LF」 (ALARM COMPULSION CANCEL)

ALARM 状態を強制解除します。

2-2-2. 「ADTnn+CR,LF」 (ALARM DURATION TIME)

ALARM DURATION TIME の設定をします。

nn は時間で単位は、秒です。設定範囲は【01】 ~ 【60】秒です。

ALARM 状態の時に、このコマンドを受けますと MODE が異なる為

「GN+CR,LF」を返します。

2-2-3. 「AICB+CR,LF」 (ALARM INPUT CONTACT BREAK)

ALARM INPUT CONTACT の設定を【BREAK】に設定します。

ALARM 状態の時に、このコマンドを受けますと MODE が異なる為

「GN+CR,LF」を返します。

2-2-4. 「AICM+CR,LF」 (ALARM INPUT CONTACT MAKE)

ALARM INPUT CONTACT の設定を【MAKE】に設定します。

ALARM 状態の時に、このコマンドを受けますと MODE が異なる為

「GN+CR,LF」を返します。

- 2-2-5. 「AISnnnn+CR,LF」 (ALARM INPUT CHANNEL SELECT)
ALARM INPUT CHANNEL SELECT の設定をします。
左端の2文字のnnは各アラーム接続端子の番号です。
次の2文字のnnは各入力チャンネルの番号です。
ALARM 状態の時に、このコマンドを受けますと MODE が異なる為
「GN+CR,LF」を返します。
- 2-2-6. 「AISALnn+CR,LF」 (ALARM INPUT CHANNEL SELECT)
ALARM INPUT CHANNEL SELECT の設定を全て同一の入力チャンネルに
設定します。
左端の2文字のnnは各入力チャンネルの番号です。
ALARM 状態の時に、このコマンドを受けますと MODE が異なる為
「GN+CR,LF」を返します。
- 2-2-7. 「AMEnn0nON+CR,LF」 (ALARM MEMORY ERASE)
記憶されているアラームのメモリを全て消去します。
ALARM 状態の時に、このコマンドを受けますと MODE が異なる為
「GN+CR,LF」を返します。
- 2-2-8. 「AMOnn0nON+CR,LF」 (ALARM OUTPUT SET)
ALARM OUTPUT SELECT の設定を【ON】に設定します。
左端の2文字のnnは各入力チャンネルの番号です。
次の1文字のnは各出力モニタ、出力センサの番号です。
ALARM 状態の時に、このコマンドを受けますと MODE が異なる為
「GN+CR,LF」を返します。
- 2-2-9. 「AMOnn0nOF+CR,LF」 (ALARM OUTPUT SET)
ALARM OUTPUT SET の設定を【OFF】に設定します。
左端の2文字のnnは各入力チャンネルの番号です。
次の1文字のnは各出力モニタ、出力センサの番号です。
ALARM 状態の時に、このコマンドを受けますと MODE が異なる為
「GN+CR,LF」を返します。
- 2-2-10. 「AMOAL0nON+CR,LF」 (ALARM OUTPUT SET)
ALARM OUTPUT SET の設定を全ての入力チャンネルに対して
各出力モニタを【ON】に設定します。
nは各出力モニタ、出力センサの番号です。
ALARM 状態の時に、このコマンドを受けますと MODE が異なる為
「GN+CR,LF」を返します。
- 2-2-11. 「AMOAL0nOF+CR,LF」 (ALARM OUTPUT SET)
ALARM OUTPUT SET の設定を全ての入力チャンネルに対して
各出力モニタを【OFF】に設定します。
nは各出力モニタ、出力センサの番号です。
ALARM 状態の時に、このコマンドを受けますと MODE が異なる為
「GN+CR,LF」を返します。

- 2-2-12. 「AMOnnALON+CR,LF」 (ALARM OUTPUT SET)
ALARM OUTPUT SET の設定を各入力チャンネルに対して
全ての出力モニタ、出力センサを【ON】に設定します。
nnは各入力チャンネルの番号です。
ALARM 状態の時に、このコマンドを受けますと MODE が異なる為
「GN+CR,LF」を返します。
- 2-2-13. 「AMOnnALOF+CR,LF」 (ALARM OUTPUT SET)
ALARM OUTPUT SET の設定を各入力チャンネルに対して
全てのモニタ出力、出力センサを【OFF】に設定します。
nnは各入力チャンネルの番号です。
ALARM 状態の時に、このコマンドを受けますと MODE が異なる為
「GN+CR,LF」を返します。
- 2-2-14. 「AMOALLALON+CR,LF」 (ALARM OUTPUT SET)
ALARM OUTPUT SET の設定を全ての入力チャンネルに対して
全てのモニタ出力、出力センサを【ON】に設定します。
ALARM 状態の時に、このコマンドを受けますと MODE が異なる為
「GN+CR,LF」を返します。
- 2-2-15. 「AMOALLALOF+CR,LF」 (ALARM OUTPUT SET)
ALARM OUTPUT SET の設定を全ての入力チャンネルに対して
全てのモニタ出力、出力センサを【OFF】に設定します。
ALARM 状態の時に、このコマンドを受けますと MODE が異なる為
「GN+CR,LF」を返します。
- 2-2-16. 「ARON+CR,LF」 (ALARM RETURN ON)
ALARM RETURN の設定を【ON】に設定します。
ALARM 状態の時に、このコマンドを受けますと MODE が異なる為
「GN+CR,LF」を返します。
- 2-2-17. 「AROF+CR,LF」 (ALARM RETURN OFF)
ALARM RETURN の設定を【OFF】に設定します。
ALARM 状態の時に、このコマンドを受けますと MODE が異なる為
「GN+CR,LF」を返します。
- 2-2-18. 「BZON+CR,LF」 (ALARM BUZZER OUT ON)
ALARM BUZZER OUT の設定を【ON】に設定します。
ALARM 状態の時に、このコマンドを受けますと MODE が異なる為
「GN+CR,LF」を返します。
- 2-2-19. 「BZOF+CR,LF」 (ALARM BUZZER OUT OFF)
ALARM BUZZER OUT の設定を【OFF】に設定します。
ALARM 状態の時に、このコマンドを受けますと MODE が異なる為
「GN+CR,LF」を返します。

- 2-2-20. 「MNON+CR,LF」 (ALARM MEMORY NUMBER DISPLAY ON)
ALARM MEMORY NUMBER DISPLAY の設定を【ON】に設定します。
ALARM 状態の時に、このコマンドを受けますと MODE が異なる為
「GN+CR,LF」を返します。
- 2-2-21. 「MNOF+CR,LF」 (ALARM MEMORY NUMBER DISPLAY OFF)
ALARM MEMORY NUMBER DISPLAY の設定を【OFF】に設定します。
ALARM 状態の時に、このコマンドを受けますと MODE が異なる為
「GN+CR,LF」を返します。
- 2-2-22. 「ASMnnnnL+CR,LF」
(AUTO SEQUENCE MODE LIVE CHANNEL LIVE)
AUTO SEQUENCE MODE LIVE CHANNEL の設定を
【LIVE】に設定します。
左端の2文字のnnは各出力モニタの番号です。
次の2文字のnnは各入力チャンネルです。
- 2-2-23. 「ASMnnnnS+CR,LF」
(AUTO SEQUENCE MODE LIVE CHANNEL SKIP)
AUTO SEQUENCE MODE LIVE CHANNEL の設定を
【SKIP】に設定します。
左端の2文字のnnは各出力モニタの番号です。
次の2文字のnnは各入力チャンネルです。
- 2-2-24. 「ASTnnnn+CR,LF」
(AUTO SEQUENCE MODE SEQUENTIAL TIME)
SEQUENCE TIME の設定を各出力モニタ対して設定をします。
左端の2文字のnnは各出力モニタの番号です。
次のnnは時間で単位は、秒です。設定範囲は【01】～【60】秒です。
- 2-2-25. 「ASTALnn+CR,LF」
(AUTO SEQUENCE MODE SEQUENTIAL TIME)
SEQUENCE TIME の設定を全ての出力モニタ対して設定をします。
nnは時間で単位は、秒です。設定範囲は【01】～【60】秒です。
- 2-2-26. 「FSDDnnnnnnnnnnnnnnnnnnnnnn+CR,LF」
(FRAME SWICHER MODE DAY TIME OUTPUT DATA)
FRAME モ - ドにおいての出力の1から出力する入力チャンネルの
昼間の時間帯の設定します。
2文字のnnは各入力チャンネルです。
nnは左端からコードナンバーの1,2,3,4,5,6,7,8に対するの設定です。
- 2-2-27. 「FSNDnnnnnnnnnnnnnnnnnnnnnn+CR,LF」
(FRAME SWICHER MODE NIGHT TIME OUTPUT DATA)
FRAME モ - ドにおいての出力の1から出力する入力チャンネルの
夜間の時間帯の設定します。
2文字のnnは各入力チャンネルです。
nnは左端からコードナンバーの1,2,3,4,5,6,7,8に対するの設定です。

- 2-2-28. 「FSTDnn+CR,LF」
(FRAME SWICHER MODE DAY TIME DATA)
FRAME モ - ドにおいての昼間の時間帯を設定します。
nnは時刻です。設定範囲は【00】～【23】です。
- 2-2-29. 「FSTNnn+CR,LF」
(FRAME SWICHER MODE NIGHT TIME DATA)
FRAME モ - ドにおいての昼間の時間帯を設定します。
nnは時刻です。設定範囲は【00】～【23】です。
- 2-2-30. 「OnnInn+CR,LF」 (OUTPUT MONITOR 1～8 INPUT CHANNEL nn)
各出力モニタ1～8に対して各入力チャンネルを設定します。
左端の2文字のnnは各出力モニタの番号です。
次の2文字のnnはの各入力チャンネルです。
出力モニタ2より再生映像が静止した状態 (FREEZE) で出力されている
場合に、このコマンドを受けますとMODEが異なる為
「GN+CR,LF」を返します。
モニタ2に対して各入力チャンネルの設定はできません。
- 2-2-31. 「OALInn+CR,LF」 (OUTPUT ALL MONITOR INPUT CHANNEL nn)
全ての出力モニタ (1～8) に対して各入力チャンネルを設定します。
nnはの各入力チャンネルです。
出力モニタ2より再生映像が静止した状態 (FREEZE) で出力されている
場合に、このコマンドを受けますとMODEが異なる為
「GN+CR,LF」を返します。
全ての出力モニタに対して各入力チャンネルの設定はできません。
- 2-2-32. 「OnnI70+CR,LF」
(OUTPUT MONITOR 1～8 INPUT AUTO SEQUENCE MODE)
各出力モニタ1～8に対してオートシーケンス動作に設定します。
2文字のnnはの各出力モニタの番号です。
出力モニタ2より再生映像が静止した状態 (FREEZE) で出力されている
場合に、このコマンドを受けますとMODEが異なる為
「GN+CR,LF」を返します。
モニタ2に対してオートシーケンス動作の設定はできません。
- 2-2-33. 「OALI70+CR,LF」
(OUTPUT MONITOR 1～8 INPUT AUTO SEQUENCE MODE)
全ての出力モニタ (1～8) をオートシーケンス動作に設定します。
出力モニタ2より再生映像が静止した状態 (FREEZE) で出力されている
場合に、このコマンドを受けますとMODEが異なる為
「GN+CR,LF」を返します。
全ての出力モニタに対してオートシーケンス動作の設定はできません。

- 2-2-34. 「O O 2 I 8 0+CR,LF」
(OUTPUT MONITOR 2 INPUT PLAYBACK)
出力モニタ 2 より出力中の再生映像を静止画 (FREEZE) にします。
再生映像が静止中は静止を解除します。
ALARM 状態の時に、このコマンドを受けますと MODE が異なる為
「GN+CR,LF」を返します。
出力 2 より再生映像が出力されていない場合に、このコマンド
を受けますと MODE が異なる為「GN+CR,LF」を返します。
- 2-2-35. 「O O 2 I 8 1+CR,LF」～「O O 2 I 8 9+CR,LF」
(OUTPUT MONITOR 2 INPUT PLAYBACK CODE 1～9)
出力モニタ 2 にコードナンバー 1 から 9 の再生映像を出力します。
ALARM 状態の時に、このコマンドを受けますと MODE が異なる為
「GN+CR,LF」を返します。
- 2-2-36. 「T S A+CR,LF」(TIME SET ADJUST)
時刻の秒の単位を 0 0 に設定します。
その時の時刻が 3 0 秒未満の場合 0 0 秒に合わせます。
その時の時刻が 3 0 秒以上の場合 0 0 秒に合わせ分の単位を + 1 します。
ALARM 状態の時に、このコマンドを受けますと MODE が異なる為
「GN+CR,LF」を返します。
- 2-2-37. 「D S D n n+CR,LF」(DATE SET DAY)
日付の日の単位の設定をします。
n n は設定値で範囲は【0 1】～【3 1】です。
ALARM 状態の時に、このコマンドを受けますと MODE が異なる為
「GN+CR,LF」を返します。
- 2-2-38. 「D S M n n+CR,LF」(DATE SET MONTH)
日付の月の単位の設定をします。
n n は設定値で範囲は【0 1】～【1 2】です。
ALARM 状態の時に、このコマンドを受けますと MODE が異なる為
「GN+CR,LF」を返します。
- 2-2-39. 「D S Y n n+CR,LF」(DATE SET YEAR)
日付の年の単位の設定をします。
n n は設定値で範囲は【0 0】～【9 9】です。
ALARM 状態の時に、このコマンドを受けますと MODE が異なる為
「GN+CR,LF」を返します。
- 2-2-40. 「T S H n n+CR,LF」(TIME SET HOUR)
時刻の時の単位の設定をします。
n n は設定値で範囲は【0 0】～【2 3】です。
ALARM 状態の時に、このコマンドを受けますと MODE が異なる為
「GN+CR,LF」を返します。

- 2-2-41. 「TSMnn+CR,LF」(TIME SET MINUTE)
時刻の分の単位の設定をします。
nnは設定値で範囲は【00】～【59】です。
ALARM 状態の時に、このコマンドを受けますとMODEが異なる為
「GN+CR,LF」を返します。
- 2-2-42. 「TSSnn+CR,LF」(TIME SET SECOND)
時刻の秒の単位の設定をします。
nnは設定値で範囲は【00】～【59】です。
ALARM 状態の時に、このコマンドを受けますとMODEが異なる為
「GN+CR,LF」を返します。
- 2-2-43. 「TONnON+CR,LF」(TIME DATE OUTPUT SET 01~8 ON)
TIME DATE OUTPUT SET の設定を【ON】に設定します。
2文字のnnは各出力モニタの番号です。
ALARM 状態の時に、このコマンドを受けますとMODEが異なる為
「GN+CR,LF」を返します。
- 2-2-44. 「TONnOF+CR,LF」(TIME DATE OUTPUT SET 01~8 OFF)
TIME DATE OUTPUT SET の設定を【OFF】に設定します。
2文字のnnは各出力モニタの番号です。
ALARM 状態の時に、このコマンドを受けますとMODEが異なる為
「GN+CR,LF」を返します。
- 2-2-45. 「TOALON+CR,LF」(TIME DATE OUTPUT SET 01~8 ON)
TIME DATE OUTPUT SET の設定を全ての出力モニタに対して【ON】に
設定します。
ALARM 状態の時に、このコマンドを受けますとMODEが異なる為
「GN+CR,LF」を返します。
- 2-2-46. 「TOALOF+CR,LF」(TIME DATE OUTPUT SET 01~8 OFF)
TIME DATE OUTPUT SET の設定を全ての出力モニタに対して【OFF】に
設定します。
ALARM 状態の時に、このコマンドを受けますとMODEが異なる為
「GN+CR,LF」を返します。
- 2-2-47. 「TCInnON+CR,LF」(TITLE CHARACTER INSERT ON)
TITLE DISPLAY INSERT の設定を【ON】に設定します。
2文字のnnは各入力チャンネルです。
ALARM 状態の時に、このコマンドを受けますとMODEが異なる為
「GN+CR,LF」を返します。
- 2-2-48. 「TCInnOF+CR,LF」(TITLE CHARACTER INSERT OFF)
TITLE DISPLAY INSERT の設定を【OFF】に設定します。
2文字のnnは各入力チャンネルです。
ALARM 状態の時および再生映像を出力中に、このコマンドを受けます
とMODEが異なる為
「GN+CR,LF」を返します。

- 2-2-49. 「T C I A L O N+CR,LF」 (TITLE CHARACTER INSERT ON)
TITLE DISPLAY INSERT の設定を全ての入力チャンネルに対して【ON】に設定します。
ALARM 状態の時および再生映像を出力中に、このコマンドを受けますとMODE が異なる為
「GN+CR,LF」を返します。
- 2-2-50. 「T C I A L O F+CR,LF」 (TITLE CHARACTER INSERT OF)
TITLE DISPLAY INSERT の設定を全ての入力チャンネルに対して【OFF】に設定します。
ALARM 状態の時および再生映像を出力中に、このコマンドを受けますとMODE が異なる為
「GN+CR,LF」を返します。
- 2-2-51. 「T C O n n O N+CR,LF」 (TITLE CHARACTER OUTPUT SET ON)
TITLE OUTPUT の設定を【ON】に設定します。
2文字のnnはの各出力モニタの番号です。
ALARM 状態の時および再生映像を出力中に、このコマンドを受けますとMODE が異なる為
「GN+CR,LF」を返します。
- 2-2-52. 「T C O n n O F+CR,LF」 (TITLE CHARACTER OUTPUT SET OFF)
TITLE OUTPUT の設定を【OFF】に設定します。
2文字のnnはの各出力モニタの番号です。
ALARM 状態の時および再生映像を出力中に、このコマンドを受けますとMODE が異なる為
「GN+CR,LF」を返します。
- 2-2-53. 「T C O A L O N+CR,LF」 (TITLE CHARACTER OUTPUT SET ON)
TITLE OUTPUT の設定を全ての出力モニタに対して【ON】に設定します。
ALARM 状態の時および再生映像を出力中に、このコマンドを受けますとMODE が異なる為
「GN+CR,LF」を返します。
- 2-2-54. 「T C O n n O F+CR,LF」 (TITLE CHARACTER OUTPUT SET OFF)
TITLE OUTPUT の設定を全ての出力モニタに対して【OFF】に設定します。
ALARM 状態の時および再生映像を出力中に、このコマンドを受けますとMODE が異なる為
「GN+CR,LF」を返します。
- 2-2-55. 「S L A n n+CR,LF」 (SLAVE ADDRESS nn)
SLAVE ADDRESS の設定をします。
設定範囲は【00】～【32】です。
RS-485 で使用の場合コマンドエラー「E 3+CR,LF」を返します。
- 2-2-56. 「S L A O F+CR,LF」 (SLAVE ADDRESS OFF)
SLAVE ADDRESS の設定を【OFF】に設定します。
RS-485 で使用の場合コマンドエラー「E 3+CR,LF」を返します。

- 2-2-57. 「PWOON+CR,LF」 (PASSWORD OPERATION ON)
PASSWORD OPERATION の設定を【ON】に設定します。
- 2-2-58. 「PWOOF+CR,LF」 (PASSWORD OPERATION OFF)
PASSWORD OPERATION の設定を【OFF】に設定します。
- 2-2-59. 「PWMON+CR,LF」 (PASSWORD MANU DISPLAY ON)
PASSWORD MANU の設定を【ON】に設定します。
- 2-2-60. 「PWMOF+CR,LF」 (PASSWORD MANU DISPLAY OFF)
PASSWORD MANU の設定を【OFF】に設定します。
- 2-2-61. 「PWInnnnnnn+CR,LF」 (Password Number nnnnnn)
PASSWORD NUMBER の設定を【nnnnnn】に設定します。
範囲は【000000】～【999999】です。
- 2-2-62. 「RMV+CR,LF」 (RECORD MODEL VCR)
RECORD MODEL の設定を【VCR】に設定します。
- 2-2-63. 「RMD+CR,LF」 (RECORD MODEL DVR)
RECORD MODEL の設定を【DVR】に設定します。
- 2-2-64. 「VTFnnnn+CR,LF」 (FIELD SET)
FIELD の設定をします。
nnnnは設定値で範囲は【002】～【999】です。
- 2-2-65. 「VTMO+CR,LF」 (TRIGGER MODE OFF)
TRIGGER MODE の設定を【OFF】に設定します。
- 2-2-66. 「VTMH+CR,LF」 (TRIGGER MODE HIGH)
TRIGGER MODE の設定を【HIGH】に設定します。
- 2-2-67. 「VTML+CR,LF」 (TRIGGER MODE LOW)
TRIGGER MODE の設定を【LOW】に設定します。
- 2-2-68. 「CAnn*****+CR,LF」
*****+CR,LF」
(TITLE CHARACTER nm)
各入力チャンネルのタイトルキャラクタを設定します。
タイトルの文字長さは16文字なので16文字未満の場合は、
スペース文字を設定してください。
*印はJISコード(2Bytes)

3.READ コマンド

3-1.異常時 ANSWER

「 E 0+CR,LF」	フレーミングエラー
「 E 1+CR,LF」	パリティエラー
「 E 2+CR,LF」	オーバーランエラー
「 E 3+CR,LF」	コマンドエラー

3-2.COMMAND

3-2-1. 「 R A E+CR,LF」 (READ ALARM MEMORY 件数)

記録されているアラーム MEMORY の件数を返します。

「 0 0+CR,LF」 ~ 「 4 0 0+CR,LF」

3-2-2. 「 R A D+CR,LF」 (READ ALARM DURATION TIME)

ALARM DURATION TIME の設定値を返します。単位は秒です。

「 0 1+CR,LF」 ~ 「 6 0+CR,LF」 【 0 1】 ~ 【 6 0】

3-2-2. 「 R A I C+CR,LF」 (READ ALARM INPUT CONTACT)

ALARM INPUT CONTACT の設定を返します。

「 A I C M+CR,LF」 【 M A K E】

「 A I C B+CR,LF」 【 B R E A K】

3-2-3. 「 R A I S n n+CR,LF」 (READ ALARM INPUT n n SELECT CHANNEL)

ALARM INPUT CHANNEL SELECT の設定を返します。

n n は各アラーム接続端子の番号です

「 0 1+CR,LF」 ~ 「 2 8+CR,LF」

【 0 1】 ~ 【 2 8】

3-2-4. 「 R A M O n n 0 n+CR,LF」

(READ ALARM CHANNEL n n OUTPUT n)

ALARM OUTPUT SET の設定を返します。

左端の2文字の n n は各入力チャンネルの番号です。

次の1文字の n は各出力モニタの番号です。

「 O N+CR,LF」 【 O N】

「 O F F+CR,LF」 【 O F F】

3-2-5. 「 R A M N+CR,LF」 (READ ALARM MEMORY NUMBER)

ALARM MEMORY NUMBER の設定を返します。

「 M N O N+CR,LF」 【 O N】

「 M N O F+CR,LF」 【 O F F】

3-2-6. 「 R A R+CR,LF」 (READ ALARM RETURN)

ALARM RETURN の設定を返します。

「 O N+CR,LF」 【 O N】

「 O F F+CR,LF」 【 O F F】

3-2-7. 「R B Z+CR,LF」 (READ ALARM BUZZER)

ALARM BUZZER OUT の設定を返します。

「ON+CR,LF」 【ON】

「OFF+CR,LF」 【OFF】

3-2-8. 「R A S M n n n n +CR,LF」

(READ AUTO SEQUENCE MODE MONITOR OUT nm CHANNEL nm)

SEQUENCE MODE LIVE CHANNEL の設定を返します。

左端の2文字のnnは各出力モニタの番号です。

次の2文字のnnは各入力チャンネルです。

「SKIP+CR,LF」 【SKIP】

「LIVE+CR,LF」 【LIVE】

3-2-9. 「R A S T n n +CR,LF」

(READ AUTO SEQUENCE MODE MONITOR OUT nm
SEQUENTIAL TIME)

AUTO SEQ. TIME の設定値を返します。単位は秒です。

2文字のnnは各出力モニタの番号です。

「01+CR,LF」 ~ 「60+CR,LF」 【01】 ~ 【60】

3-2-10. 「R E 0 0 1+CR,LF」 ~ 「R E 4 0 0+CR,LF」

(READ ALARM MEMORY)

ALARM MEMORY の DATA を返します。

「c h y y m m d d h h M M s s +CR,LF」

c h = チャンネルNo .

y y = 年 mm = 月 dd = 日 hh = 時 MM = 分 ss = 秒

3-2-11. 「R F S D D +CR,LF」

(READ FRAME SWICHER MODE DAY TIME OUTPUT DATA)

の設定を返します。

「n n . n n . n n . n n . n n . n n . n n . n n +CR,LF」

【n n . n n . n n . n n . n n . n n . n n . n n 】

2文字のnnは各入力チャンネルです。

nnは左端からコードナンバーの1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8 に対しての設定です

3-2-12. 「R F S N D +CR,LF」

(READ FRAME SWICHER MODE NIGHT TIME OUTPUT DATA)

の設定を返します。

「n n . n n . n n . n n . n n . n n . n n . n n +CR,LF」

【n n . n n . n n . n n . n n . n n . n n . n n 】

2文字のnnは各入力チャンネルです。

nnは左端からコードナンバーの1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8 に対しての設定です

3-2-13. 「R F T D +CR,LF」

(READ FRAME SWICHER MODE DAY TIME DATA)

FRAME モ - ドにおいての昼間の時間帯の設定値を返します。単位は時刻です。

「00+CR,LF」 ~ 「23+CR,LF」 【00】 ~ 【23】

- 3-2-14. 「RFTN+CR,LF」
 (READ FRAME SWICHER MODE NIGHT TIME DATA)
 FRAME モードにおいての夜間の時間帯の設定値を返します。単位は時刻です。
 「00+CR,LF」～「23+CR,LF」 【00】～【23】
- 3-2-15. 「RE001+CR,LF」～「RALM400+CR,LF」
 (READ ALARM MEMORY)
 アラームのALARM MEMORYのDATAを返します。
 「ch.yy.mm dd:hh:MM:ss+CR,LF」
 ch=チャンネルNo.
 yy=年 mm=月 dd=日 hh=時 MM=分 ss=秒
- 3-2-16. 「RM01+CR,LF」～「RM08+CR,LF」 (READ MODE)
 現在の状態を返します。
- | | |
|---------------|---|
| 「MENU+CELF」 | MENU表示中 |
| 「FSM+CR,LF」 | フレーム出力で動作中。(出力1のみ) |
| 「PBMnn+CR,LF」 | 再生映像(動作)を出力中。(出力1,2)
nnは表示中のコードナンバーです。 |
| 「PBFnn+CR,LF」 | 再生映像(静止)を出力中。(出力1,2)
nnは表示中のコードナンバーです。 |
| 「ASMnn+CR,LF」 | オートシーケンシャルで動作中
nnは表示中の各入力チャンネルです。 |
| 「nn+CR,LF」 | 各入力チャンネルで画面が固定されています |
| 「Ann+CR,LF」 | ALARM DURATION 中のチャンネルです。 |
- 3-2-17. 「RRM+CR,LF」 (READ RECORDO MODE)
 RECORDO MODE の設定値を返します。
- | | |
|-------------|-------|
| 「VCR+CR,LF」 | 【VCR】 |
| 「DVR+CR,LF」 | 【DVR】 |
- 3-2-18. 「RTCI nn+CR,LF」
 (READ TITLE CHARACTER CHANNEL nn INSERT)
 TITLE DISPLAY INSERT の設定を返します。
 2文字のnnは各入力チャンネルです。
- | | |
|-------------|-------|
| 「ON+CR,LF」 | 【ON】 |
| 「OFF+CR,LF」 | 【OFF】 |
- 3-2-19. 「RTCONn+CR,LF」
 (READ TITLE CHARACTER OUTPUT MONITOR 01 ~ 8)
 TITLE OUTPUT SET の設定を返します。
 2文字のnnは各出力モニタの番号です
- | | |
|-------------|-------|
| 「ON+CR,LF」 | 【ON】 |
| 「OFF+CR,LF」 | 【OFF】 |
- 3-2-20. 「RTD+CR,LF」 (READ TIME & DATE)
 マトリックススイッチャの日付&時刻を返します。
 「yy.mm.dd hh:MM:ss+CR,LF」
 yy=年 mm=月 dd=日 hh=時 MM=分 ss=秒

3-2-21. 「RTOnn+CR,LF」 (READ TIME DATE OUTPUT MONITOR 01 ~ 8)
TIME OUTPUT SET の設定を返します。

2文字のnnは各出力モニタの番号です

「ON+CR,LF」 【ON】

「OFF+CR,LF」 【OFF】

3-2-22. 「RSLA+CR,LF」 (READ SLAVE ADDRESS)

SLAVE ADDRESS の設定を返します。

「00+CR,LF」 ~ 「31+CR,LF」 【00】 ~ 【31】

「OFF+CR,LF」 【OFF】

3-2-23. 「RPWO+CR,LF」

(READ PASSWORD MODE OPERATION)

PASSWORD OPERATION の設定を返します。

「ON+CR,LF」 【ON】

「OFF+CR,LF」 【OFF】

3-2-24. 「RPWM+CR,LF」

(READ PASSWORD MODE DISPLAY MENU)

PASSWORD MENU の設定を返します。

「ON+CR,LF」 【ON】

「OFF+CR,LF」 【OFF】

3-2-25. 「RPWN+CR,LF」

(READ PASSWORD NUMBER)

PASSWORD NUMBER の設定を返します。

「nnnnnnn+CR,LF」 【nnnnnnn】

3-2-26. 「RVTM+CR,LF」 (READ TRIGGER MODE)

TRIGGER MODE の設定を返します。

「VTML+CR,LF」 【LOW】

「VTMH+CR,LF」 【HIGH】

「VTMO+CR,LF」 【OFF】

3-2-27. 「RVTF+CR,LF」 (READ FIELD)

FIELD の設定値を返します。

「002+CR,LF」 ~ 「999+CR,LF」 【002】 ~ 【999】

4. ご注意

RS-485 で使用の場合 COMMAND の先頭に SLAVE ADDRESS の番号を付けます。
ANSWER の先頭にも SLAVE ADDRESS の番号が付きます。
COMMAND の発行と同時にマトリックススイッチャのフロントスイッチを操作
されますと誤った ANSWER を返すことがあります。
COMMAND の発行を連続で行う場合 100mseconds. 以上の間隔をあけて下さい。
タイトル設定 (C A COMMAND) の発行を連続で行う場合 500mSeconds. 以上の間隔
をあけて下さい。

JIS X0208 第 1 水準は 3,489 文字で

0x222f ~ 0x2239, 0x2242 ~ 0x2249, 0x2251 ~ 0x225b, 0x226b ~ 0x2271, 0x227a ~ 0x227d,
0x2321 ~ 0x232f, 0x233a ~ 0x2340, 0x235b ~ 0x2360, 0x237b ~ 0x237e, 0x2474 ~ 0x247e,
0x2577 ~ 0x257e, 0x2639 ~ 0x2640, 0x2659 ~ 0x267e, 0x2742 ~ 0x2750, 0x2772 ~ 0x277e,
0x2841 ~ 0x2f7e, 0x4f54 ~ 0x4f7e のコードは除きます。

JIS X0208 第 2 水準は 3,390 文字で 0x7427 ~ 0x7e7e のコードは除きます。

2003.3.18

ASCII CODE表(16進)

SPACE	020H	A	041H	a	061H
		B	042H	b	062H
-	02DH	C	043H	c	063H
.	02EH	D	044H	d	064H
/	02FH	E	045H	e	065H
		F	046H	f	066H
0	030H	G	047H	g	067H
1	031H	H	048H	h	068H
2	032H	I	049H	i	069H
3	033H	J	04AH	j	06AH
4	034H	K	04BH	k	06BH
5	035H	L	04CH	l	06CH
6	036H	M	04DH	m	06DH
7	037H	N	04EH	n	06EH
8	038H	O	04FH	o	06FH
9	039H	P	050H	p	070H
:	03AH	Q	051H	q	071H
<	03CH	R	052H	r	072H
>	03EH	S	053H	s	073H
		T	054H	t	074H
		U	055H	u	075H
		V	056H	v	076H
		W	057H	w	077H
		X	058H	x	078H
		Y	059H	y	079H
		Z	05AH	z	07AH
ア	0A7H	キ	0B7H	ナ	0C5H
イ	0A8H	ク	0B8H	ニ	0C6H
エ	0AAH	ケ	0B9H	ヌ	0C7H
オ	0ABH	コ	0BAH	ネ	0C8H
ヤ	0ACH	サ	0BBH	ノ	0C9H
ユ	0ADH	シ	0BCH	ハ	0CAH
ヨ	0AEH	ス	0BDH	ヒ	0CBH
ツ	0AFH	セ	0BEH	フ	0CCH
ア	0B1H	ソ	0BFH	ヘ	0CDH
イ	0B2H	タ	0C0H	ホ	0CEH
ウ	0B3H	チ	0C1H	マ	0CFH
エ	0B4H	ツ	0C2H	ミ	0D0H
オ	0B5H	テ	0C3H	ム	0D1H
カ	0B6H	ト	0C4H	メ	0D2H

モ	0D3H	ン	0DDH
ヤ	0D4H		
ユ	0D5H		
ヨ	0D6H		
ラ	0D7H		
リ	0D8H		
ロ	0D9H		
ワ	0DCH		